

1.	①	11.	①	21.	④	31.	②	41.	③
2.	③	12.	④	22.	③	32.	③	42.	①
3.	③	13.	④	23.	②	33.	④	43.	②
4.	①	14.	②	24.	④	34.	①	44.	③
5.	③	15.	②	25.	④	35.	①	45.	②
6.	①	16.	②	26.	③	36.	③	46.	③
7.	①	17.	④	27.	④	37.	③	47.	①
8.	②	18.	②	28.	④	38.	③	48.	③
9.	①	19.	②	29.	①	39.	③	49.	③
10.	①	20.	③	30.	②	40.	③	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

「～のように見える、～と思われる」という意味に最も近い英単語は①の **appear** です。外見や状況から判断して、ある特定の状態であるように感じられることを示します。例えば、「彼は疲れているように見えた」は **He appeared to be tired.** と表現します。他の選択肢について、② **appeal** は「訴える、魅力的である」、③ **apply** は「申し込む」、④ **approach** は「近づく」という意味です。

◆補足：appear は、類義語の **seem** とほぼ同じ意味で使えますが、**appear** の方がより客観的な外見に基づいた判断を指す傾向があります。また、「現れる」という意味も持ち、**The sun appeared from behind the clouds.** (雲の間から太陽が現れた) のように使います。

2.

解答 ③

【解説】

「…かどうか」という意味に最も近い英単語は③の **whether** です。二つ以上の選択肢の間での疑いや選択を表す節を導く接続詞です。例えば、「彼が来るかどうか分からない」は **I don't know whether he will come.** と表現します。他の選択肢について、① **weather** は「天気」で、**whether** と同音異義語なので注意が必要です。② **whatever** は「～するものは何でも」、④ **while** は「～する間に」という意味です。

◆補足：**whether** は、**whether A or B** の形で使われることが非常に多いです。また、文法的には、**if** が名詞節を導けない文脈(例：前置詞の後ろ)でも、**whether** は使うことができます。

3.

解答 ③

【解説】

「それゆえに」という意味に最も近い英単語は③の **therefore** です。前の文で述べられた事柄から導かれる、論理的な結論を示す接続副詞です。ややフォーマルな響きがあります。他の選択肢について、① **furthermore** と④ **moreover** は「その上、さらに」という追加を表し、② **otherwise** は「さもなければ」という仮定の条件を表します。

◆**補足**：**therefore** は、**thus** や **consequently**、**as a result** といった類義語の中でも、特に論理的な帰結を強調する際に使われます。

4.

解答 ①

【解説】

「～を発明する」という意味に最も近い英単語は①の **invent** です。それまで存在しなかった新しい物や方法を、初めて考え出して作り出すことを指します。例えば、「電話を発明する」は **invent the telephone** と表現します。他の選択肢について、② **discover** は「～を発見する」で、既に存在していたものを見つけ出すことを意味します。③ **invest** は「～を投資する」、④ **invite** は「～を招待する」です。

◆**補足**：**invent** と **discover** の違いは非常に重要です。コロンブスはアメリカ大陸を「発見 (**discover**)」し、エジソンは電球を「発明 (**invent**)」しました。この区別をしっかりと理解しましょう。名詞形は **invention** (発明)、発明家は **inventor** です。

5.

解答 ③

【解説】

英語表現「**set out on** ～」は、「(旅など)に出発する」という意味です。特に、長くて重要な旅や事業などを始める際に使われます。例えば、「長い旅に出る」は **set out on a long journey** と表現します。選択肢①「～を設立する」は **set up** ～、②「～を延期する」は **set back** ～、④「～を脇に置く」は **set aside** ～ です。

◆**補足**：**set out** は単独でも「出発する」という意味で使えます。また、**set out to do** の形で「～することに取り掛かる、～しようと意図する」という意味になることも重要です。

6.

解答 ①

【解説】

「教育」という意味に最も近い英単語は①の **education** です。学校などで、知識や技能を教えたり学んだりするプロセス、またはそれによって得られる知識そのものを指します。例えば、「高等教育」は **higher education** と表現します。他の選択肢について、② **election** は「選挙」、③ **emotion** は「感情」、④ **exception** は「例外」という意味です。

◆補足：education の動詞形は **educate**（～を教育する）、形容詞形は **educational**（教育の）です。

7.

解答 ①

【解説】

「～を承認する、～に賛成する」という意味に最も近い英単語は①の **approve** です。計画や要請などを、公式に良いと認めることを指します。例えば、「その計画は市議会によって承認された」のように使います。他の選択肢について、② **improve** は「～を改善する」、③ **prove** は「～を証明する」、④ **approach** は「～に近づく」という意味です。

◆補足：**approve** は、**approve of** ～ の形で「～を良いと認める、～に賛成する」という意味でも頻繁に使われます。名詞形は **approval**（承認、賛成）、対義語は **disapprove**（～に不賛成である）です。

8.

解答 ②

【解説】

「～を代表する、表す」という意味に最も近い英単語は②の **represent** です。ある個人やグループの代理として公式に行動したり、意見を述べたりすること、あるいは、ある記号や物が特定の意味を「象徴する、表す」ことを指します。他の選択肢について、① **recommend** は「～を推薦する」、③ **regret** は「～を後悔する」、④ **release** は「～を解放する」という意味です。

◆補足：**represent** の名詞形は **representation**（代表、表現）と **representative**（代表者）です。語源は **re-**（再び）＋**present**（示す）で、「再び示す」ことから現在の意味につながっています。

9.

解答 ①

【解説】

英単語「**specifically**」は、「特に、明確に」という意味の副詞です。ある特定の事柄をはっきりと指し示したり、特定の目的のために、という意図を述べたりする際に使われます。例えば、「このアプリは学生向けに特に設計されている」のように使います。②「特別に」を意味する **specially** とはニュア

ンスが異なります。specifically が「限定・特定」を強調するのに対し、specially は「特別な目的」を強調します。③「絶えず」は constantly、④「十分に」は sufficiently です。

◆補足：specifically は、形容詞 specific（特定の、明確な）から派生した副詞です。To be specific, ...（具体的に言うと、…）という形で、より詳しい説明を始める際の導入表現としてもよく使われます。

10.

解答 ①

【解説】

英語表現「stand for 〜」は、「〜を表す、〜の略である」という意味です。頭文字などが、何の単語や語句を指しているのかを説明する際に使われます。例えば、「WHO は何の略ですか」は What does WHO stand for? と尋ねます。②「目立つ」は stand out、③「〜の代わりをする」は stand in for 〜です。④「〜に我慢する」は動詞 stand 単独で使われることがあります。

◆補足：「stand for」は、「(理念など) を象徴する」という意味でも使われます。例えば、The flag stands for our country.（その旗は我が国を象徴している）のように使います。これは「表す」という意味の延長線上にある使い方です。

11.

解答 ①

【解説】

「〜に影響を与える」という意味に最も近い英単語は①の affect です。動詞として、人や物事に変化や効果を及ぼすことを指します。例えば、「天候は気分に影響を与えることがある」のように使います。他の選択肢について、② effect は主に名詞で「影響、効果」、③ effort は「努力」、④ afford は「〜する余裕がある」という意味です。

◆補足：affect（動詞）と effect（名詞）の使い分けは、英語学習者が最も混同しやすい点の一つです。The medicine affected me.（その薬は私に影響を与えた）、The medicine had an effect on me.（その薬は私に効果があった）のように、品詞の違いを明確に意識することが重要です。

12.

解答 ④

【解説】

英単語「match」は、動詞として「〜に調和する、〜と釣り合う」という意味で使われます。二つのものが、色、柄、スタイルなどの点でうまく合っている状態を表します。例えば、「そのネクタイはあなたのシャツに合っている」は The tie matches your shirt. と表現します。選択肢①「〜を混ぜる」は mix、②「〜を溶かす」は melt、③「〜を修理する」は mend や repair です。

◆補足：match, fit, suit はいずれも「合う」と訳せますが、ニュアンスが異なります。match は色や柄の「調和」、fit はサイズや形の「適合」、suit は人や状況への「適切さ」を表します。名詞としては「試合」や「マッチ」の意味もあります。

13.

解答 ④

【解説】

「(出稼ぎなどの) 移住者」という意味に最も近い英単語は④の migrant です。特に、仕事を見つけるために、一時的あるいは恒久的にある場所から別の場所へ移動する人を指します。他の選択肢について、① immigrant は永住目的で入国する「(外国からの) 移民」、② emigrant は永住目的で自国から出ていく「(外国への) 移民」で、視点が異なります。③ tourist は「観光客」です。

◆補足：migrant は、動詞 migrate (移住する) から派生した言葉です。immigrant や emigrant が国境を越える永住を強く意識させるのに対し、migrant は国内での移動や、季節的な労働のための移動なども含む、より広い概念です。migrant worker (出稼ぎ労働者) という形でよく使われます。

14.

解答 ②

【解説】

英単語「healthily」は、「健康的に」という意味の副詞です。健康に良い方法で、ということを示します。例えば、「健康的な食事をする」は eat healthily と表現します。選択肢①「心から」は heartily、③「熱心に」は eagerly、④「重く」は heavily が対応します。

◆補足：healthily は、形容詞 healthy (健康な) の副詞形です。healthy の名詞形は health (健康) です。これらの派生語はセットで覚えるようにしましょう。

15.

解答 ②

【解説】

英単語「overtime」は、「時間外労働、残業」という意味の名詞です。正規の勤務時間を超えて働くことを指します。例えば、「残業する」は work overtime、「残業代」は overtime pay と表現します。選択肢①「休憩時間」は break time、③「勤務時間」は working hours、④「締め切り」は deadline です。

◆補足：overtime は、over (超えて) と time (時間) が組み合わさった複合語で、文字通り「時間を超える」ことを意味します。名詞だけでなく、work overtime のように副詞としても使われます。

16.

解答 ②

【解説】

英単語「surprising」は、「驚くべき、意外な」という意味の形容詞です。予想外で人を驚かせるような性質を持つ物事を説明する際に使われます。例えば、「驚くべきニュース」は surprising news と表現します。選択肢①「満足な」は satisfying、③「疲れる」は tiring、④「心配な」は worrying であり、これらも感情を表す動詞の-ing 形です。

◆補足：surprising と surprised の使い分けは重要です。surprising は驚きの「原因」となる物事を (The news was surprising.)、surprised は驚きを「感じた」人を (I was surprised.) 表します。このように、感情を引き起こす原因は-ing 形、感情を感じた側は-ed 形で表すのが原則です。

17.

解答 ④

【解説】

英単語「force」が動詞として使われる場合、「～に（…することを）強いる、強制する」という意味になります。相手の意に反して、何かを無理やりさせることを指します。force A to do の形で使われることが非常に多いです。選択肢①「～に集中する」は focus on ～、②「～を忘れる」は forget、③「～を許す」は forgive です。

◆補足：force は名詞として使われると、「力、武力、軍隊」といった意味を持つ多義語です。動詞の「強いる」は、この「力」という核となるイメージから来ています。

18.

解答 ②

【解説】

「投票する」という意味に最も近い英単語は②の vote です。選挙や会議などで、公式に自分の選択や意見を示す行為を指します。例えば、「大統領に投票する」は vote for the president と表現します。他の選択肢について、① devote は「～を捧げる」、③ note は「～に気づく、～を書き留める」、④ quote は「～を引用する」という意味です。

◆補足：vote は名詞としても使われ、「投票、票」を意味します。vote for ～（～に賛成投票する）、vote against ～（～に反対投票する）の形を覚えておきましょう。

19.

解答 ②

【解説】

英単語「**nowadays**」は、「近頃は、今日では」という意味の副詞です。過去の状況と対比して、現在の一般的な状況や傾向を述べる際に使われます。例えば、「近頃は、ほとんどの人が携帯電話を持っている」のように使います。選択肢①「時々」は **sometimes**、③「すぐに」は **soon**、④「その後」は **afterward** です。

◆補足：**nowadays** は、**these days** とほぼ同じ意味で使えますが、**nowadays** の方がやや文語的な響きがあります。**now a days**（今の時代には）という古い表現が一つになった言葉です。

20.

解答 ③

【解説】

英単語「**attitude**」は、「態度、考え方、心構え」という意味の名詞です。人や物事に対する感情や信念が、行動にどう現れるかを示します。例えば、「前向きな態度」は **a positive attitude** と表現します。選択肢①「高度」は **altitude**、②「才能」は **aptitude**、④「緯度」は **latitude** で、いずれも発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：**attitude toward(s) ～** の形で、「～に対する態度」と表現することが多いです。

21.

解答 ④

【解説】

英単語「**safely**」は、「安全に」という意味の副詞です。危険や危害を受けることなく、無事に物事が行われる様子を表します。例えば、「安全に家に帰り着く」は **arrive home safely** と表現します。選択肢①「悲しげに」は **sadly**、②「同じように」は **similarly** や **in the same way**、③「ほとんど～ない」は **seldom** や **hardly** です。

◆補足：**safely** は、形容詞 **safe**（安全な）に、副詞を作る接尾辞 **-ly** が付いた形です。名詞形は **safety**（安全）です。

22.

解答 ③

【解説】

英単語「**evidence**」は、「証拠」という意味の名詞です。何かが真実であることを信じる根拠となる事実やしるしを指します。例えば、「有罪の決定的な証拠」は **conclusive evidence of guilt** と表現します。選択肢①「出来事」は **event**、②「出口」は **exit**、④「努力」は **effort** です。

◆補足：**evidence** は、原則として数えられない不可算名詞であるという点が非常に重要です。そのため、**an evidence** や **evidences** という形にはならず、「一つの証拠」と言いたい場合は **a piece of evidence** のように表現します。形容詞形は **evident**（明白な）です。

23.

解答 ②

【解説】

英単語「officially」は、「公式に、正式に」という意味の副詞です。権威のある立場の人によって、あるいは公の場で発表・決定される様子を表します。例えば、「その計画は公式に承認された」は The plan was officially approved. と表現します。選択肢①「効果的に」は effectively、③「効率的に」は efficiently、④「しばしば」は often や frequently です。

◆補足：officially は、形容詞 official（公式の）に、副詞を作る接尾辞 -ly が付いた形です。名詞 office（事務所、職務）と関連しており、公的な職務として行われる、というニュアンスを持ちます。

24.

解答 ④

【解説】

英語表現「go by 〜」は、時間が主語の場合、「(時間が) 経過する、過ぎ去る」という意味になります。例えば、「時間が経つにつれて」は as time goes by と表現します。選択肢①「〜を経験する」は go through 〜、②「〜に賛成する」は go with 〜 や go along with 〜、③「〜なしで済みます」は go without 〜 が対応します。

◆補足：go by 〜 は、「〜によって判断する」(go by the rules ルールに従って判断する) や、「〜のそばを通り過ぎる」(go by the post office 郵便局のそばを通る) といった意味も持つ多義的な句動詞です。文脈で意味を判断しましょう。

25.

解答 ④

【解説】

「巣」という意味に最も近い英単語は④の nest です。鳥や昆虫などが、卵を産み、子を育てるために作る構造物を指します。例えば、「鳥の巣」は a bird's nest と表現します。他の選択肢について、① net は「網」、② rest は「休息、残り」、③ test は「試験」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：nest は動詞としても使われ、「巣を作る」という意味になります。また、比喩的に「居心地の良い場所、隠れ家」といった意味で使われることもあります。

26.

解答 ③

【解説】

英単語「discovery」は、「発見」という意味の名詞です。それまで知られていなかった物事や事実を、初めて見つけ出す行為や、その見つけ出されたものを指します。例えば、「科学上の大発見」は a great scientific discovery と表現します。選択肢①「回復」は recovery、②「配達」は delivery、④「災害」は disaster です。

◆補足：discovery は、動詞 discover（～を発見する）の名詞形です。何か新しいものを創造する invention（発明）とは区別されます。make a discovery（発見をする）という形でよく使われます。

27.

解答 ④

【解説】

英単語「illegal」は、「違法の、不法の」という意味の形容詞です。法律によって禁じられていることを示します。例えば、「違法駐車」は illegal parking と表現します。選択肢①「病気の」は ill、②「非論理的な」は illogical、③「無教養の、読み書きのできない」は illiterate で、これらも否定的な意味を持つ単語です。

◆補足：illegal は、否定の接頭辞 il- と、形容詞 legal（合法の）が組み合わさってできています。il- は、l で始まる単語の前で使われる否定の接頭辞です（例：illegible 読みにくい）。対義語は legal です。

28.

解答 ④

【解説】

英単語「typical」は、「典型的な、代表的な」という意味の形容詞です。あるグループが持つ共通の特徴をすべて示している様子を表します。例えば、「典型的な日本の家庭」は a typical Japanese family と表現します。選択肢①「熱帯の」は tropical、②「話題の」は topical、③「合計の」は total です。

◆補足：typical は、名詞 type（型、種類）の形容詞形です。typical of ～ の形で「～に典型的で、～らしい」という使い方もされます（例：It's typical of him to be late. 彼が遅刻するのはいかにも彼らしい）。副詞形は typically（典型的に、一般的に）です。

29.

解答 ①

【解説】

「裁判所、法廷」という意味に最も近い英単語は①の **court** です。法律的な裁判が行われ、犯罪などが裁かれる場所を指します。例えば、「法廷へ行く」は **go to court** と表現します。他の選択肢について、② **course** は「進路、コース」、③ **coat** は「コート、上着」、④ **port** は「港」という意味です。

◆補足：**court** は、テニスやバスケットボールなどのスポーツをするための「コート」や、王様が住む「宮廷」といった意味も持つ多義語です。文脈に応じて意味を判断する必要があります。

30.

解答 ②

【解説】

英単語「**possibly**」は、「ひょっとすると、ことによると」という意味の副詞です。何かが真実である、あるいは起こるかもしれないが、確信はないという状況で使われます。例えば、「ひょっとすると彼は来るかもしれない」は **He may possibly come.** と表現します。選択肢①「前向きに」は **positively**、③「個人的に」は **personally**、④「以前に」は **previously** です。

◆補足：**possibly** は、**maybe** や **perhaps** とほぼ同じ意味ですが、より丁寧な響きがあります。疑問詞や助動詞 **can** と共に使い、「一体全体」という強調や、「どうにかして」と丁寧な依頼を表すこともできます（例：**Could you possibly lend me a hand?**）。

31.

解答 ②

【解説】

英単語「**pleasant**」は、「心地よい、楽しい、感じの良い」という意味の形容詞です。人や物事、経験などが、人を楽しい気分にする様子を表します。例えば、「快適な午後」は **a pleasant afternoon**、「感じの良い人」は **a pleasant person** と表現します。選択肢①「現在の」は **present**、③「貴重な」は **precious**、④「個人的な」は **private** や **personal** です。

◆補足：**pleasant** は、動詞 **please**（～を喜ばせる）の形容詞形です。名詞形は **pleasure**（喜び）です。対義語は、否定の接頭辞 **un-** を付けた **unpleasant**（不快な）です。

32.

解答 ③

【解説】

英語表現「**for free**」は、「無料で、ただで」という意味です。お金を支払う必要がないことを示す、口語的な表現です。例えば、「そのコンサートは無料で入場できる」は **You can enter the concert for free.** と表現します。選択肢①「確かに」は **for sure**、②「永遠に」は **for good**、④「例えば」は **for instance** や **for example** です。

◆補足：for free の類義語として free of charge があり、こちらの方がよりフォーマルな響きがあります。

33.

解答 ④

【解説】

英単語「officer」は、「警官、役人」という意味の名詞です。警察や軍隊、あるいは政府機関などで、責任ある地位に就いている人を指します。例えば、「警察官」は a police officer と表現します。選択肢①「事務所」は office、②「提供」は offer、③「作者」は author です。

◆補足：officer は、会社における「役員」を指すこともあります（例：an executive officer）。この単語は、公的な権限や責任を持つ立場の人を幅広く指す言葉です。

34.

解答 ①

【解説】

「（価格が）手頃な、道理にかなった」という意味に最も近い英単語は①の reasonable です。価格が高すぎないことや、行動や考えが公正で分別があることを示します。例えば、「手頃な価格」は a reasonable price と表現します。他の選択肢について、② readable は「読みやすい」、③ reliable は「信頼できる」、④ remarkable は「注目すべき、驚くべき」という意味です。

◆補足：reasonable の名詞形は reason（理由、理性）です。理性にかなっている、という核となるイメージが、「道理的な」「（法外でなく）手頃な」といった意味につながっています。

35.

解答 ①

【解説】

「A だけでなく B も」という意味に最も近い英語表現は①の not only A but also B です。二つの事柄を列挙し、特に B の方を強調する際に使われる相関接続詞です。例えば、「彼は歌手であるだけでなく、俳優でもある」のように使います。他の選択肢について、② either A or B は「A か B のどちらか」、③ neither A nor B は「A も B も～ない」、④ A as well as B は「B だけでなく A も」となり、A と B の順序と強調点が逆になります。

◆補足：not only が文頭に来ると、倒置（疑問文の語順）が起こるという重要な文法ルールがあります（例：Not only is he a singer, but he is also an actor.）。also は省略されることもあります。

36.

解答 ③

【解説】

英単語「surface」は、「表面、外見」という意味の名詞です。液体や物体の外側の部分を指します。例えば、「水の表面」は **the surface of the water** と表現します。選択肢①「調査」は **survey**、②「奉仕、サービス」は **service**、④「確信」は **certainty** です。

◆補足：surface は、動詞として使われると「表面化する、現れる」という意味になります。語源は、古フランス語の **sur-**（上の）＋**face**（面）で、「面の上」というのが核となるイメージです。

37.

解答 ③

【解説】

「～に敬意を表して、～を記念して」という意味に最も近い英語表現は③の **in honor of** です。特定の人や出来事を称え、尊敬の念を示すために何かを行う際に使われます。例えば、「彼の功績を称えてパーティーが開かれた」のように使います。他の選択肢について、① **in favor of** は「～に賛成して」、② **in spite of** は「～にもかかわらず」、④ **in front of** は「～の正面に」という意味です。

◆補足：honor は「名誉、敬意」を意味する名詞です。イギリス英語では **honour** と綴ります。

38.

解答 ③

【解説】

英単語「fingerprint」は、「指紋」という意味の名詞です。指の先にあり、人によって異なる渦巻き状の模様を指します。犯罪捜査などで個人を特定するために使われます。例えば、「指紋を残す」は **leave fingerprints** と表現します。選択肢①「足跡」は **footprint** で、構造が似ているため良い比較対象です。②「指導」は **guidance**、④「第一印象」は **first impression** です。

◆補足：fingerprint は、**finger**（指）と **print**（跡、印刷）が組み合わさった複合名詞です。動詞としても使われ、「～の指紋をとる」という意味になります。

39.

解答 ③

【解説】

「～に同行する、付随する」という意味に最も近い英単語は③の **accompany** です。誰かと一緒に同じ場所へ行くことや、ある物事に別の物事が伴って起こることを指します。例えば、「子供は保護者の同伴が必要です」は **Children must be accompanied by an adult.** のように受け身で使われます。他の

選択肢について、① **occupy** は「～を占める」、② **apply** は「申し込む」、④ **accomplish** は「～を成し遂げる」という意味です。

◆**補足**：**accompany** の語源は、名詞の **company**（仲間、同伴）に由来します。「仲間になる」というイメージから現在の意味につながっています。音楽の文脈では「～の伴奏をする」という意味にもなります。

40.

解答 ③

【解説】

「そのほかに」という意味に最も近い英単語は③の **else** です。疑問詞（**what, where, who** など）や、**somebody, anything** といった不特定のもを表す代名詞の後ろに置かれ、「他の、別の」という意味を加えます。例えば、「何か他にご注文は？」は **Anything else?** と表現します。他の選択肢について、① **also** は「～もまた」、② **even** は「～でさえ」、④ **only** は「ただ～だけ」という意味です。

◆**補足**：**else** は、**or else** の形で「さもなければ」という、警告や脅しの意味を表す重要な用法もあります。例：**Hurry up, or else you'll be late.**（急がないと、さもないと遅れますよ。）

41.

解答 ③

【解説】

英語表現「**as a result of ～**」は、「～の結果として、～が原因で」という意味です。**of** の後に原因となる事柄が来て、その影響を述べます。例えば、「不注意の結果として、彼は間違いを犯した」は **He made a mistake as a result of his carelessness.** と表現します。選択肢①「～の代わりに」は **instead of ～**、②「～に加えて」は **in addition to ～**、④「～にもかかわらず」は **in spite of ～** です。

◆**補足**：**as a result of ～** は、**because of ～** や **due to ～** とほぼ同じ意味で使えます。また、**of** を取った **as a result** は副詞句として「その結果」という意味になり、文頭で使われることが多いです。

42.

解答 ①

【解説】

英語表現「**it is believed that…**」は、「…と信じられている」という意味です。特定の個人の意見ではなく、一般的に多くの人々によってそう考えられていることを示す、ややフォーマルな表現です。例えば、「運動は健康に良いと信じられている」のように使います。選択肢②「…と報告されている」は **it is reported that…**、③「…と期待されている」は **it is expected that…**、④「…と決定されている」は **it is decided that…** が対応します。

◆補足：この It is ... that ～ の構文は、客観的な事実や一般的な見解を述べる際に、ニュース記事や学術的な文章で頻繁に用いられます。It is said that ... (…とされている) も同様によく使われる表現です。

43.

解答 ②

【解説】

「～を探して」という意味に最も近い英語表現は②の in search of です。何かを見つけ出そうと試みている状況を表します。例えば、「彼は仕事を探して町へ行った」は He went to the city in search of a job. と表現します。他の選択肢について、① in spite of は「～にもかかわらず」、③ in favor of は「～に賛成して」、④ in case of は「～の場合には」という意味です。

◆補足：in search of ～ は、looking for ～ よりも文語的で、より真剣な探索というニュアンスを持つことがあります。

44.

解答 ③

【解説】

英単語「financial」は、「財政上の、金融の」という意味の形容詞です。お金やその管理に関連することを表します。例えば、「財政的支援」は financial support、「金融危機」は a financial crisis と表現します。選択肢①「最終的な」は final、②「人工的な」は artificial、④「顔の」は facial で、発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：financial は、名詞 finance（財政、金融、資金）の形容詞形です。finance は動詞として「～に融資する」という意味も持ちます。

45.

解答 ②

【解説】

英単語「rough」は、「ざらざらした、滑らかでない」という意味の形容詞です。物の表面が平らでなく、凹凸がある状態を表します。例えば、「ざらざらした手」は rough hands と表現します。選択肢①「丈夫な、厳しい」は tough、③「十分な」は enough、④「笑う」は動詞の laugh で、いずれも発音が似ているため注意が必要です。

◆補足：rough は多義語で、他に「大まかな、おおよその」(a rough sketch)、「(天候などが) 荒れた」(rough weather)、「困難な」(a rough time) など、文脈によって様々な意味を持ちます。対義語は smooth（滑らかな）です。

46.

解答 ③

【解説】

英語表現「be indifferent to 〜」は、「〜に無関心である」という意味です。特定の物事に対して、興味や関心、好悪の感情を全く持たない状態を表します。例えば、「彼は政治に無関心だ」は He is indifferent to politics. と表現します。選択肢①「〜と異なっている」は be different from 〜、②「〜に満足している」は be satisfied with 〜、④「〜に依存している」は be dependent on 〜 です。

◆補足：indifferent は、「異なっていない」という意味ではない点に注意が必要です。接頭辞 in- は否定を表しますが、ここでは different（異なる）ではなく、関心や感情が「ない」ことを示します。名詞形は indifference（無関心）です。

47.

解答 ①

【解説】

英単語「angle」は、「角度」や「観点、見方」という意味の名詞です。①二つの線や面が交わる部分の角度、②物事を考える特定の方法や立場の両方を指します。例えば、「別の観点から」は from a different angle と表現します。選択肢②「天使」は angel、③「足首」は ankle で、スペルや発音が似ているため注意が必要です。④「怒り」は anger です。

◆補足：幾何学的な「角度」という意味から、比喩的に物事を見る「角度」、つまり「観点」という意味が生まれました。

48.

解答 ③

【解説】

「商品、品物」という意味に最も近い英単語は③の goods です。販売されるために生産された物品を指します。例えば、「輸入品」は imported goods と表現します。他の選択肢について、① foods は「食品」、② goals は「目標」、④ gods は「神々」という意味です。

◆補足：goods は、常に複数形で使われ、単数形の good は形容詞「良い」または名詞「善」となり、意味が異なる点に注意が必要です。services（サービス）と対で、goods and services（商品とサービス）という形で経済の文脈でよく使われます。

49.

解答 ③

【解説】

「目撃者」という意味に最も近い英単語は③の **witness** です。犯罪や事故などの出来事を、その場で実際に見た人を指します。例えば、「その事故には目撃者がいなかった」のように使います。他の選択肢について、① **weakness** は「弱さ」、② **wilderness** は「荒野」、④ **witch** は「魔女」を意味します。

◆補足：**witness** は動詞としても使われ、「～を目撃する」という意味になります。**an eyewitness** は、より具体的に「その目で見た証人」というニュアンスを強調します。

50.

解答 ②

【解説】

英単語「**arrival**」は、「到着」という意味の名詞です。人や物がどこかに着くことを指します。例えば、「新しい商品の到着」は **the arrival of new products**、「到着時刻」は **the arrival time** と表現します。選択肢①「ライバル」は **rival**、③「生存」は **survival**、④「承認」は **approval** です。

◆補足：**arrival** は、動詞 **arrive**（到着する）の名詞形です。対義語は **departure**（出発）で、空港の電光掲示板などで **Arrivals** と **Departures** が対で表示されているのをよく見かけます。
